



光受寺通信

H.30年2月1日 発行
 発行者 光受寺
<https://koujyuji.com/>

春の訪れも、もうそこまで。光受寺の境内ではもう寒あやめも咲いています。クリスマスローズも咲き始めました。世の中どんなに変わろうと自分の「いのち」をただひたすらに生きている姿は美しいものです。

それに比べて人間はどうなのでしょう。昨今の様々な事件を見つめてみると、煩惱まみれの醜い世界に私たちは生きているように思われてきます。まさに『阿弥陀経』の中にも説かれている五濁悪世の観がします。**五濁**には**劫濁**…私たちの願いがいつも踏みにじられる時代の濁り、**見濁**…みんな自分が正しくて、他人が間違っていると思いついて入っている考えの濁り、**煩惱濁**…自分の都合の良いようにしか物事を見ることができない迷いや欲望の眼の濁り、**衆生濁**…みんなのことを考えずに、自分の目先の利害にだけこだわる人間が人間らしさを失う社会の濁り、**命濁**…命の尊さを忘れ、自分の命も他人の命も粗末にするような濁り、というものがあありますが、まさにこんな世界に生きているのだと実感せざるをえません。しかしながら私たちはこの世界から抜け出すことはどうあがいてみても脱することはできません。ただこの現実を確かに受け止めて(自覚)いこうとするとところに念仏に出会う機縁があり、そこにこそ私たちが救われていく道が開かれてくるのです。

インタビュー

絵手紙、その人生を聞く。

Y・Fさん

文字さん八十五歳は、かつて友人からご朱印帖をいただいたことがきっかけとなり、絵手紙を書くようになったと語ります。

「ご朱印帖はご朱印帖としてではなく、日頃の感動を言葉にしようと、日記風に使い始めたのだという。やがて童謡の歌詞などを書き込み、自分の人生と重ね合わせながら、その印象を絵で表現したのだという。」

花に魚に自然と向き合うことが楽しいという文字さん、対象物に声をかけながら描くという。感動はみごとに生きた言葉として絵として描かれる。

文字さん曰、世の中には興味関心のもてるものはたくさんあるし、やってみたいことも多くあるけれど、一歩踏み出す気持ちが大切だという。一歩踏み出す気持ちがあることも多いものだと、しみじみと語るその瞳は輝いていた。

かつて岐阜県のぎふ山の日に応募した作品が、最優秀作品に選ばれたこともあるという。その後も精力的に絵手紙を描き続け、多くの受賞も受けたという。

玄関は絵手紙が飾られ、ちょっとしたギャラリーとなつて訪問者を楽しませてくれている。

何事にも積極的に取り組もうとする意欲と探求心は衰えを感じさせない。

今回の取材を通して、文字さんの年齢を感じさせない心の柔軟さに驚かされたが、情性に生きる私にとつては、とても刺激を受けたこととなりました。



八月八日は 岐阜山の日に
最優秀賞作品。



ご縁となつたご朱印帖



障子に張られた作品。
一部アップ作品。



今年もおかげさまで

＝ おでんを囲んで和やかに ＝

今年も一月十三日(土)に皆さんのご尽力により光受寺の新年の会が開かれました。この日は小雪舞う寒い日となりましたが、総勢二十一
名がどて煮やおでんを囲んで歓談し交流を深めました。

お世話いただく方々の高齢化もあつて準備も大変なのですが、それ以上に門徒同士の交流の大切さへの熱い思いが今年も実現へと導いてくれたようです。ほんとうにおかげさまで
ありました。

特に生姜の利いだとして煮は毎年好評で、おかわりも進み、大鍋はいつの間にか空になってしまいました。来年もこの会
が開かれることを願っています。



光受寺学習会参加のお誘い

光受寺で学習会を始めて、すでに十年以上が過ぎました。その間、皆様に育てられながら、ここまで続けてくることができました。

本年も毎月第二土曜日を午後7時より8時半(8月・12月はお休み)を基本計画としながら続けていきたいと思っております。今まで以上の皆様のお力添えをいただきたいと願っています。



今を共に生き、共に悩み、共に苦しみながら聖人の教えに学んでいこうとする同朋の会です。

正信偈同朋奉賛唱和・法話・学習(テキスト・ビデオ鑑賞など)休憩・学習・恩徳讃といった内容です。

心算の法話

「助かて生きる」



南無阿弥陀仏の教え尋ねていくと、私たちはすでに助かて生きているに気がせいでいただけです。

世の中の様々な宗教は、助かるために特殊な祈りや修行の生活をしますが、浄土真宗は助かて生きる life。

そのよへの感謝の思ひが南無阿弥陀仏の声となし表出せいでいる life。

ただ念仏の思ひを篤へん。

春の永代経

三月二十一日(水)

春分の日

午前10時～

お斎

午後一時～

あり

永代経は御先祖さまのお浄土に出会わせていただけるご縁として、ぜひご参詣いただきます。春の一日。心豊かにお過ごしいただけることを、願っています。

法話 午前 住職

午後 M・S

合掌



書院展のご案内

毎週金曜日は

喫茶デー。

住職の都合で休むこともありますが、本堂向拝正面に掲示いたします(お気軽にお越しください)。

新聞記事募集

さまざまな体験や日々の思いをお聞かせください。趣味、旅行記なんでも結構です。ご協力をお願いします。